

「JR安芸矢口駅及びJR下深川駅周辺地区バリアフリー基本構想（素案）」
に対する市民意見募集の結果について

1 募集期間

平成29年3月15日（水）～平成29年3月29日（水）

2 募集方法

- (1) 市ホームページに募集コンテンツを掲載
- (2) 広報紙に募集記事を掲載（市民と市政3月15日号）
- (3) 道路交通局都市交通部、安佐北区役所区政調整課、公文書館に閲覧用及び配布用の素案を設置

3 応募結果

- (1) 応募者数 11人
- (2) 意見件数 30件
- (3) 意見の内訳

区 分	件数	備 考
ア 計画全体に関すること	—	
イ 個別の事業に関すること	30件	・ JR安芸矢口駅関連 12件 ・ JR下深川駅関連 12件 ・ 両駅共通 6件

4 意見への対応

区 分	件数
(1) 意見の趣旨により計画（素案）を修正するもの	—
(2) 意見の趣旨がすでに計画（素案）に盛り込まれているなど、計画の修正を行わないもの	10件
(3) 具体的な取組に当たって今後の参考とするもの	20件

意見に対する市の考え方

(1) 意見の趣旨により計画（素案）を修正するもの

（該当なし）

(2) 意見の趣旨がすでに計画（素案）に盛り込まれているなど、計画の修正を行わないもの

イ 個別の事業に関すること

意見の要旨		市の考え方
J R 安芸矢口駅関連		
1	■ 跨線橋にエレベーター、エスカレーターを併設してもらいたい。	本構想には、改札口からホームへの昇降設備（エレベーター）の設置を盛り込んでおり、エレベーターによりバリアフリー化を図ることにしています。
2	■ 跨線橋は階段が急で足の不自由な人や大きな荷物をもっている人にはとても不便である。エスカレーターやエレベーターは工事が大変なので、線路を跨ぐ上げ下げ可能なスロープを設けてはどうか。	
3	■ 跨線橋に代えて構内踏切を新設することを検討すべきではないか。	
4	■ 跨線橋の階段を利用するのは、老人には厳しく、時間もかかる。安心して利用できるようにしてもらいたい。	
J R 下深川駅関連		
5	■ 改札口からホームへ降りる階段に昇降設備（エレベーター）を併設してもらいたい。	本構想には、改札口からホームへの昇降設備（エレベーター）の設置や自由通路への昇降設備（エレベーター）の設置を盛り込んでおり、エレベーターによりバリアフリー化を図ることにしています。
6	■ 自由通路の階段に昇降設備（エレベーター）を併設してもらいたい。	
7	■ 改札口からホームへの階段及び自由通路の階段に、キャリア等の重量物を引き込みやすくするための傾斜路を設置することを検討してもらいたい。	
8	■ 駅のトイレが和式しかないので洋式にしてもらいたい。また、障害者対応にしてもらいたい。	本構想には、障害者対応トイレ（多機能トイレ）の設置検討を盛り込んでいます。
9	■ 「券売機の改良」「自由通路へのエレベーター設置」「トイレの改修」を優先的に検討してもらいたい。	本構想には、券売機の改良を含む駅のバリアフリー化について、目標年次である平成32年度までの整備を目指すことを盛り込んでいます。また、駅と一体的な施設として、自由通路への昇降設備（エレベーター）の設置や、障害者対応トイレ（多機能トイレ）の設置検討についても取り組むことにしています。
両駅共通		
10	■ ホームに行くために階段を使うのはとてもしんどいので、平坦な経路で行き来できるようにしてもらいたい。	本構想には、両駅ともに、改札口からホームへの昇降設備（エレベーター）の設置を盛り込んでおり、エレベーターによりバリアフリー化を図ることにしています。

(3) 今後の取組に当たって参考とするもの

イ 個別の事業に関すること

意見の要旨		市の考え方
J R 安芸矢口駅関連		
11	■ホームが狭小で危険なため、ホームの拡幅を事業に追加してはどうか。	駅のバリアフリー化については、今後、交通事業者において具体的な整備内容を検討することにしており、いただいた御意見については、事業者に情報提供しています。
12	■広島方面だけでも跨線橋を渡らなくてもすむよう相対式のホームにしたり、風雨が防げるよう廃車した車両を設置するなどしてはどうか。	
13	■改札口のそばに広島方面のホームを新設してはどうか。	
14	■県道矢口安古市線の郵便局付近の歩道の水はけが悪いので、バリアフリーの観点からも改良を促進してもらいたい。	今後、改良工事を実施し対応する予定です。
15	■駅周辺のバリアフリー化には、駅前広場の確保が一番大切である。	本構想には、J R 安芸矢口駅における交通結節機能の強化に向けて、J R とバス等の乗継環境の向上を盛り込んでいます。 いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
16	■駅前の道路にある停車スペースを減らすような変更は避けてもらいたい。自家用車と公共交通の乗り換えの利便性を下げる変更は、せつかくバリアフリーにした駅から交通弱者を遠ざけてしまうのではないか。	
17	■平成29年度の市予算に下深川駅のバリアフリー化に関する経費が計上されているが、乗降客の多い安芸矢口駅の予算がないことが理解できない。	J R 安芸矢口駅については、ホーム幅が狭いなどの様々な課題があり、現在、交通事業者において、施工方法等の検討を進めているところです。 本市としては、両駅ともに、国の基本方針で定められている平成32年度までに着実にバリアフリー化が図られるよう、交通事業者と協働しながら取り組むことにしています。
18	■駅窓口が昼休みで閉まっていたため1時間以上も待たされたことがあるなど、駅の対応に不満がある。	いただいた御意見については、事業者に情報提供しています。
J R 下深川駅関連		
19	■駅のトイレを敷地外に移転すれば、駅舎内のスペースに余裕が生まれ、駅舎内にエレベーターを設置することができるのではないか。	バリアフリー化の具体的な整備内容は、今後、各事業者において検討していくこととなります。 いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
20	■駅北側の階段付近に凸凹があり、健常者でも足を取られて怪我をする恐れがあるため、舗装等してもらいたい。	当該敷地を管理している交通事業者からは、現地確認の上、可能な範囲で修繕すると聞いています。
21	■駅北側の階段付近が凸凹で歩きにくいいため、車いすでも通れるよう舗装してもらいたい。	

意見の要旨		市の考え方
22	■ 駅北側の道路を拡幅し、信号機を設置することを検討してもらいたい。	現時点では、当該道路の拡幅整備は困難であると考えていますが、本構想において生活関連経路に準ずる経路として位置づけ、中長期的にバリアフリー化に取り組むことにしています。 いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
23	■ 駅から周辺施設まで離れており、徒歩による移動は困難なので、まずは駅からバス停までの間の道路整備や屋根の設置等を検討してもらいたい。	本構想には、駅周辺の生活関連経路や、生活関連経路に準ずる経路におけるバリアフリー化を盛り込んでおり、具体的な整備内容は今後、各事業者において検討していくこととなります。
24	■ 駅北側の道路と広島中島線との交差点は見通しが悪いので、横断歩道を下深川バス停寄りへ移動や、カーブミラーの増設などを検討してもらいたい。	いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
25	■ 駅北側から線路沿いに西へ向かう通路の街灯が少ないので増設してもらいたい。	いただいた御意見については、通路敷地の所有者に情報提供しています。
両駅共通		
26	■ エレベーターを利用するのは、車いすユーザーだけでなく、高齢者やベビーカー、スーツケース等の大きな荷物を運んでいる方など多種多様なため、1回で多く乗れる15名以上のエレベーターを設置してもらいたい。	交通事業者からは、安全管理上、ホームの広さを確保する必要もあるため、御意見にあるような規模のエレベーターを設置することは困難と聞いています。
27	■ JR芸備線で使用されている車両は、ドア付近に段差があるため、バリアフリー車両の導入を計画に盛り込んではどうか。	交通事業者からは、バリアフリー車両の導入は順次進めているものの、芸備線への導入について現時点で具体的な計画はないと聞いています。
28	■ JR芸備線に、車椅子利用者のスペースが確保されている車両や低床の車両を導入してもらいたい。	
29	■ 基本構想に基づいて実際に改良をする際には、一般利用者の利便性を損なわないよう留意してもらいたい。バリアフリー化によって、一般利用者の利便性が損なわれれば、利用者の減少や便数の減少を招き、駅の機能が低下するのではないか。	バリアフリー化の具体的な整備内容は、今後、各事業者において検討していくこととなります。 いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
30	■ バス停付近については、バスが正着しやすくなるよう、歩道高さの適正化やバスベイの延長等の整備を盛り込んでもらいたい。	本構想には、駅周辺の生活関連経路や、生活関連経路に準ずる経路におけるバリアフリー化を盛り込んでおり、具体的な整備内容は今後、各事業者において検討していくこととなります。 いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。